



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 GMOアドパートナーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4784 URL https://www.gmo-ap.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)橋口 誠
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)菅谷 俊彦 (TEL)03(5728)7900
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	25,779	2.2	280	△9.3	306	△15.8	197	11.3
2018年12月期第3四半期	25,222	3.8	308	△30.0	363	△19.8	177	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 221百万円 (△32.5%) 2018年12月期第3四半期 328百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	12.23	12.22
2018年12月期第3四半期	10.78	10.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	10,547	5,125	46.4
2018年12月期	11,094	5,103	43.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 4,891百万円 2018年12月期 4,861百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	0.00	0.00	0.00	7.20	7.20
2019年12月期	0.00	0.00	0.00		
2019年12月期(予想)				9.10	9.10

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	2.9	560	10.2	550	△2.0	295	25.2	18.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	16,757,200株	2018年12月期	16,757,200株
2019年12月期3Q	710,600株	2018年12月期	537,600株
2019年12月期3Q	16,155,082株	2018年12月期3Q	16,466,403株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業領域であるインターネット広告市場につきましては、2018年度の広告費が1兆7,589億円（前年比16.5%増）となり、テレビ広告に次ぐ市場として引き続き堅調な伸びを維持しております（株式会社電通調べ）。また、消費者の可処分時間におけるインターネットの利用の割合は年々増加する傾向にあり、特に購買意欲の高い20代から40代のインターネットの利用時間は、大きく増えております（総務省「平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」より）。

このような流れを受け、マス広告のように、認知促進を目的として動画広告等を活用するなど、企業における広告活動のより多様な領域においてインターネット広告の活用が進んでおり、今後も同様の傾向が続くものと見込まれております。

このような環境下、当社グループは、「すべての人にインターネット」という企業理念のもと、インターネット広告事業におけるナンバーワンを目指し、事業にまい進してまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は25,779百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は280百万円（前年同期比9.3%減）、経常利益は306百万円（前年同期比15.8%減）となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は197百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

当社はセグメント情報の利用者にとって明確で有用な情報開示を目的として、事業を「エージェンシー事業」および「メディア・アドテク事業」として区分しております。セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①エージェンシー事業

「エージェンシー事業」は、当社グループにおける広告主様との主要な接点として、営業活動を主に担っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、対大手顧客との取引において、既存顧客との取引伸長、新規顧客の取引拡大により、前四半期に引き続き売上高は拡大し、当社連結グループの売上高を牽引した一方、中・小型企業向けの既存商材の販売終了と代替商材の販売計画の遅れから、売上高は前年同期比微増にとどまりました。

今後もインターネット広告市場における成長領域・新商流を適時適切につかみ、グループ経営の相乗効果を発揮することによって、大きな成長を実現すべく事業活動を展開してまいります。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は19,655百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は561百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

②メディア・アドテク事業

「メディア・アドテク事業」は主に、当社グループにおけるアドテクノロジー商材・自社メディアの開発およびメディア様とのリレーション構築の要となっております。

当事業においては自社開発のスマートフォン向けアドネットワーク「AkaNe」、コンテンツを活用した集客やブランディングのニーズに高度で適切な配信を実現する、コンテンツ集客に特化した広告配信プラットフォーム（DSP）「ReeMo」を主要商材として、総合的なマーケティングプラットフォームを提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、昨年から取り組んでおりますインターネット広告の品質向上の取り組みによる経営成績への影響が一服しつつあり、当社内における各種KPIの動向は、おおむね前年同期の水準に戻っております。一方で、市場全体に品質向上の取組が浸透しつつあることから、良質な媒体の広告枠の獲得競争が激しくなっており、仕入コストが増加傾向にあることから、セグメント利益としては軟調な推移となりました。引き続き市場のニーズをとらえた商品開発・提供を行い、当事業の成長に注力してまいります。

これらの結果、メディア・アドテク事業の売上高は7,379百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は308百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて546百万円減少し10,547百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少492百万円、現金及び預金の減少230百万円、投資有価証券の増加40百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて568百万円減少し5,422百万円となりました。これは、主に買掛金の減少397百万円、未払消費税等の減少388百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて21百万円増加し5,125百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加80百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により197百万円の増加、配当金の支払いにより116百万円の減少等）、その他有価証券評価差額金の増加19百万円、自己株式の増加70百万円、非支配株主持分の減少15百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月7日に公表しました2019年12月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,241,027	4,010,363
受取手形及び売掛金	3,901,473	3,409,314
たな卸資産	6,591	10,515
関係会社預け金	200,000	200,000
その他	221,213	342,059
貸倒引当金	△37,855	△39,149
流動資産合計	8,532,449	7,933,103
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	132,970	82,798
工具、器具及び備品（純額）	74,039	64,825
その他	12,808	39,465
有形固定資産合計	219,818	187,090
無形固定資産		
のれん	103,153	51,091
ソフトウェア	203,602	190,395
その他	33,939	61,311
無形固定資産合計	340,695	302,797
投資その他の資産		
投資有価証券	578,426	618,530
関係会社長期預け金	800,000	800,000
繰延税金資産	218,654	209,943
その他	438,056	528,602
貸倒引当金	△34,089	△32,795
投資その他の資産合計	2,001,048	2,124,280
固定資産合計	2,561,562	2,614,168
資産合計	11,094,012	10,547,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,876,705	3,479,406
未払金	305,000	242,390
未払法人税等	143,360	17,279
未払消費税等	411,896	23,492
賞与引当金	68,637	61,455
役員賞与引当金	2,064	11,931
その他	767,366	1,006,882
流動負債合計	5,575,032	4,842,838
固定負債		
繰延税金負債	15,033	16,901
その他	400,088	562,384
固定負債合計	415,122	579,286
負債合計	5,990,154	5,422,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,301,568	1,301,568
資本剰余金	2,136,262	2,136,262
利益剰余金	1,436,735	1,517,566
自己株式	△183,890	△254,093
株主資本合計	4,690,676	4,701,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,733	190,219
その他の包括利益累計額合計	170,733	190,219
新株予約権	18,683	25,653
非支配株主持分	223,764	207,970
純資産合計	5,103,857	5,125,147
負債純資産合計	11,094,012	10,547,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	25,222,509	25,779,601
売上原価	20,090,519	21,210,739
売上総利益	5,131,989	4,568,861
販売費及び一般管理費	4,823,272	4,288,822
営業利益	308,717	280,039
営業外収益		
受取利息	2,331	3,173
受取配当金	1,421	5,716
為替差益	967	—
補助金収入	10,453	17,713
投資有価証券評価益	40,930	5,596
その他	2,610	4,851
営業外収益合計	58,715	37,051
営業外費用		
支払利息	9	—
支払手数料	493	561
為替差損	—	788
持分法による投資損失	2,643	8,682
その他	349	602
営業外費用合計	3,495	10,635
経常利益	363,937	306,455
特別利益		
事業分離における移転利益	81,995	—
投資有価証券売却益	3,322	9,914
新株予約権戻入益	—	805
持分変動利益	13,566	—
特別利益合計	98,884	10,720
特別損失		
固定資産売却損	1,878	713
固定資産除却損	5,256	—
投資有価証券評価損	—	3,193
特別損失合計	7,134	3,907
税金等調整前四半期純利益	455,686	313,268
法人税、住民税及び事業税	205,689	109,351
法人税等調整額	47,522	1,882
法人税等合計	253,211	111,234
四半期純利益	202,475	202,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,968	4,421
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,506	197,612

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	202,475	202,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,771	19,485
その他の包括利益合計	125,771	19,485
四半期包括利益	328,246	221,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,278	217,098
非支配株主に係る四半期包括利益	24,968	4,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・アド テク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,278,172	5,944,336	25,222,509	—	25,222,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,194	1,690,204	1,720,399	△1,720,399	—
計	19,308,367	7,634,541	26,942,909	△1,720,399	25,222,509
セグメント利益	437,419	426,521	863,940	△555,222	308,717

(注1) セグメント利益の調整額△555,222千円は、事業セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・アド テク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,654,335	6,125,265	25,779,601	—	25,779,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	716	1,253,931	1,254,648	△1,254,648	—
計	19,655,052	7,379,197	27,034,249	△1,254,648	25,779,601
セグメント利益	561,482	308,988	870,470	△590,430	280,039

(注1) セグメント利益の調整額△590,430千円は、事業セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。